

2025年3月期 第1四半期 クリモトグループ決算説明資料

Challenge to change.

KURIMOTO

おかげさまで

115TH
ANNIVERSARY

目次

1. 2025年3月期 第1四半期実績

2. 2025年3月期 業績予想

3. トピックス

参考資料

1. 2025年3月期 第1四半期実績

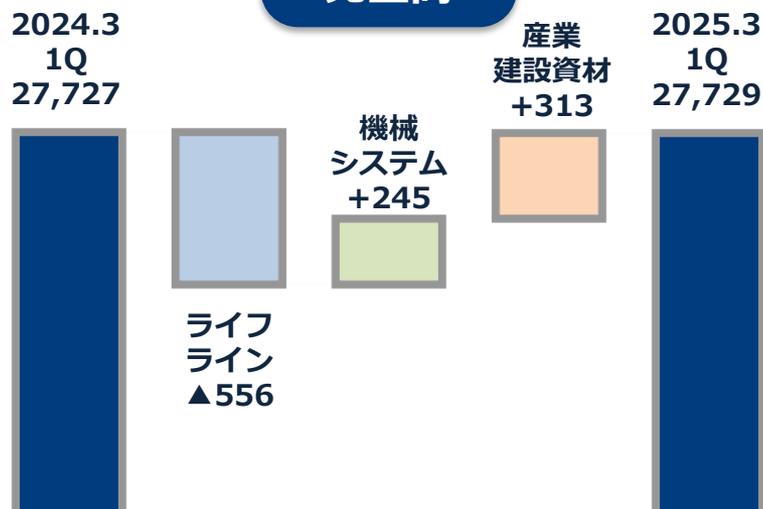
1 - 1 決算概要

<連結>

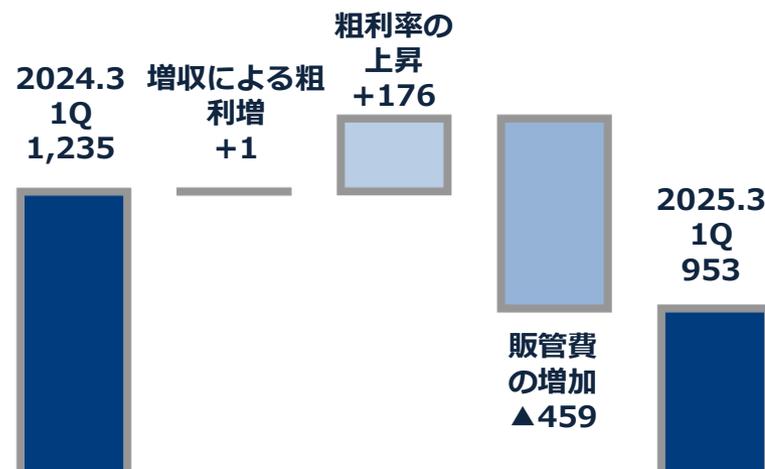
(単位：百万円)

	2024.3 1Q 実績 (A)		2025.3 1Q 実績 (B)		前年比 (B-A)	2025.3 期初予想 (2024.5.14公表)	
売上高	27,727	-	27,729	-	2	124,000	-
営業利益 (率)	1,235 (4.5%)		953 (3.4%)		▲282	7,000 (5.6%)	
経常利益 (率)	1,252 (4.5%)		1,008 (3.6%)		▲244	7,200 (5.8%)	
四半期純利益 (率)	923 (3.3%)		961 (3.5%)		38	5,000 (4.0%)	

売上高

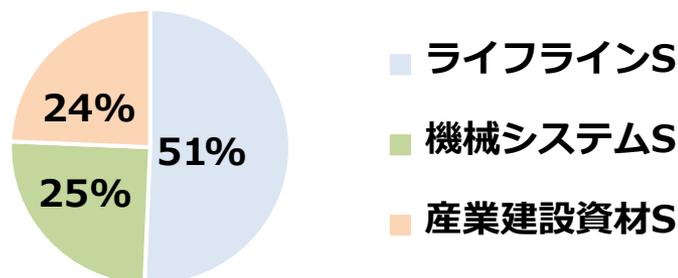


営業利益



1 - 2 セグメント別業績

		2024.3 1Q実績 (A)	2025.3 1Q実績 (B)	前年比 (B-A)
ライフライン	売上高	14,052	13,496	▲556
	営業利益	913	727	▲186
	(率)	(6.5%)	(5.4%)	(▲1.1pts)
機械システム	売上高	6,921	7,166	245
	営業利益	308	451	142
	(率)	(4.5%)	(6.3%)	(1.8pts)
産業建設資材	売上高	6,753	7,067	314
	営業利益	321	38	▲283
	(率)	(4.8%)	(0.5%)	(▲4.3pts)



※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

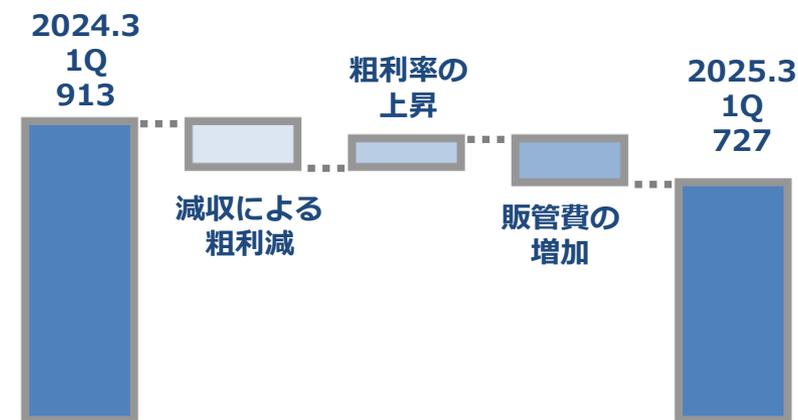
1 - 3 事業セグメント別概況

ライフラインセグメント

(単位：百万円)

	2024.3 1Q 実績 (A)	2025.3 1Q 実績 (B)	前年比 (B-A)	2025.3 期初予想値※ (2024.5.14公表)
売上高	14,052	13,496	▲556	62,000
営業利益	913	727	▲186	4,400
(率)	(6.5%)	(5.4%)	(▲1.1pts)	(7.1%)

営業利益増減内訳 (連結)



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

バルブ部門にて海外案件、電力・鉄鋼関連向け製品が好調に推移するも、パイプ部門においてグループ会社の減収影響等により前年度比556百万円の減益

営業利益

粗利率が改善したものの、減収影響や販売管理費の増加等により前年度比186百万円の減益

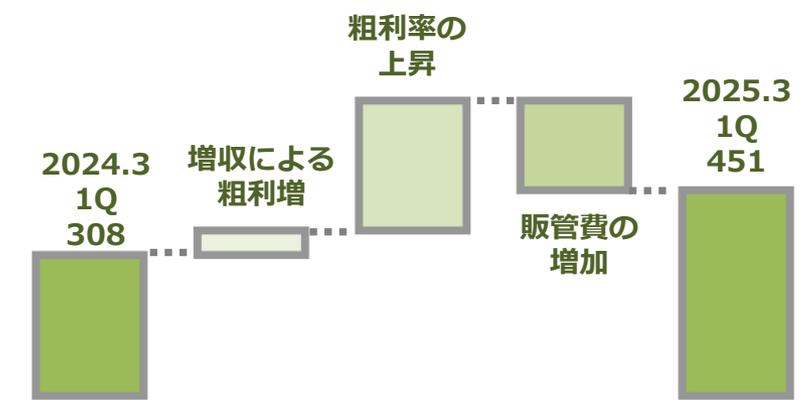
1 - 4 事業セグメント別概況

機械システムセグメント

(単位：百万円)

	2024.3 1Q 実績 (A)	2025.3 1Q 実績 (B)	前年比 (B-A)	2025.3 期初予想値※ (2024.5.14公表)
売上高	6,921	7,166	245	30,500
営業利益	308	451	142	1,400
(率)	(4.5%)	(6.3%)	(1.8pts)	(4.6%)

営業利益増減内訳 (連結)



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

機械部門においてプレス機の販売が好調であったことに加え、素形材部門でM&Aを実施した影響等により前年比245百万円の増収

営業利益

機械部門の増収影響等により、前年同期比142百万円の増益

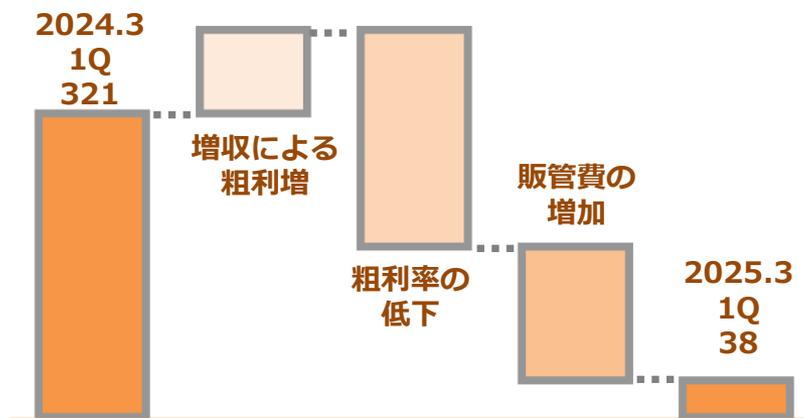
1 - 5 事業セグメント別概況

産業建設資材セグメント

(単位：百万円)

	2024.3 1Q 実績 (A)	2025.3 1Q 実績 (B)	前年比 (B-A)	2025.3 期初予想値※ (2024.5.14公表)
売上高	6,753	7,067	314	31,500
営業利益	321	38	▲283	1,900
(率)	(4.8%)	(0.5%)	(▲4.3pts)	(6.0%)

営業利益増減内訳 (連結)



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

建材部門で消音、土木関連の売上が好調に推移したことや、化成品部門において電力・通信関連向け製品、FRP検査路が好調に推移したこと等により前年比314百万円の増収

営業利益

グループ会社の工事案件にて追加工事が発生したこと等により前年比283百万円の減益

2. 2025年3月期 業績予想

2 - 1 2025年3月期 業績予想

<連結>

(単位：百万円)

	2024.3 実績 (A)		2025.3 予想 (B)		前年比 (B - A)
売上高	125,925	-	124,000	-	▲1,925
営業利益 (率)	7,460	(5.9%)	7,000	(5.6%)	▲460
経常利益 (率)	7,816	(4.5%)	7,200	(5.8%)	▲616
当期純利益 (率)	5,470	(3.3%)	5,000	(4.0%)	▲470
ROE	-	(7.1%)	-	(7.0%以上)	-

前年度は売上高の前倒しや利益率の高い製品が好調に推移したこともあり、今年度は減収減益を予想。

2-2 セグメント別業績

		2024.3 実績 (A)	2025.3 予想 (B)	前年比 (B-A)
ライフライン	売上高	64,439	62,000	▲2,439
	営業利益	4,494	4,400	▲94
	(率)	(7.0%)	(7.1%)	(0.1pts)
機械システム	売上高	29,144	30,500	1,356
	営業利益	1,491	1,400	▲91
	(率)	(5.1%)	(4.6%)	(▲0.5pts)
産業建設資材	売上高	32,340	31,500	▲840
	営業利益	2,255	1,900	▲355
	(率)	(7.0%)	(6.0%)	(▲1.0pts)

ライフラインセグメント

潜在需要はあるものの、物価上昇による市場の購買力低下により減収減益の見込み

機械システムセグメント

投資の手控えからの回復が期待できることやM&A等により増収を見込むも、原材料・エネルギー・輸送コストの高騰等により減益の見込み

産業建設資材セグメント

建設投資の戻りの遅れや、原材料コストなどの高騰により減収減益の見込み

※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

3. トピックス

3 - 1 トピックス

●再生骨材リサイクル分野への事業領域拡大（M&A）

碎石骨材を中心とする破碎エンジニアリング事業を展開している当社との親和性が高く、破碎機事業のさらなる事業基盤強化に向け、2024年4月に三協機械株式会社（埼玉県川口市）の全株式を取得

三協機械（株）の事業内容

- ・アスファルト・コンクリート破碎プラント
- ・破碎プラント 環境関連機器 改良土設備 搬送機器
- ・各種プラント／機械の設計・製造・据付



アスファルト・コンクリート廃材の再資源化に貢献するリサイクル装置

参考資料

参考資料 1 会社概要 (2024年3月末時点)

所在地：
大阪府大阪市西区北堀江1丁目12番19号

創立：
1909年2月2日（明治42年）

設立：
1934年5月10日（昭和9年）

主要事業領域：
社会インフラ事業、産業設備事業

代表者：
代表取締役社長 菊本 一高

資本金：
311億円（2024年3月末時点）

従業員数：
連結 2,121名（2024年3月末時点）
単体 1,316名（2024年3月末時点）

グループ企業：
国内外22社で構成

参考資料 2 会社概要 (2024年3月末時点)

事業所：

○工場・物流拠点 (計13か所)

大阪府内4か所
滋賀県、茨城県など

○国内営業拠点 (8か所)

大阪、東京、札幌、仙台、
名古屋、広島、福岡、沖縄

○海外拠点 (2か所)

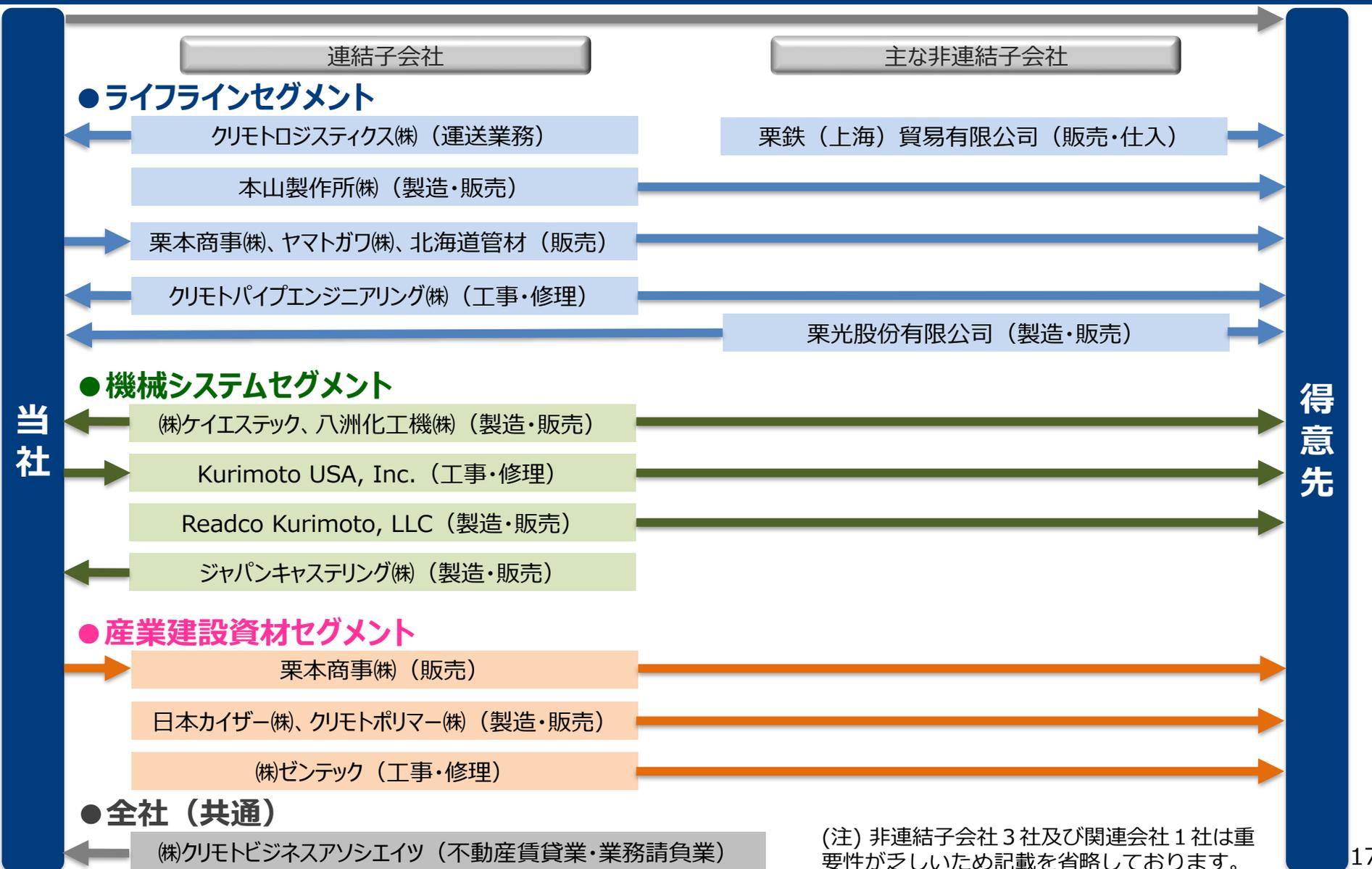
ヨーロッパ事務所 (ドイツ)、
ジャカルタ事務所 (インドネシア)



関係会社：

栗本商事(株)、ヤマトガワ(株)、(株)本山製作所、(株)ケイエステック、
ジャパンキャストリング(株)、Readco Kurimoto、Kurimoto USA<米国>、
栗鉄(上海)貿易有限公司<中国>など 計22社

参考資料 3 関係会社 (2024年3月末時点)



参考資料 4 経営理念/ありたい姿

経営理念

私たちは、全てのステークホルダーの期待と信頼に応え、常に最適なシステムを提供し、『夢ある未来』を創造します。

～社会インフラ・産業インフラへの最適なシステムの提供～

ありたい姿

「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の「三方よし」に、「未来もよし」を加えた「四方よし」の精神で、将来にわたって社会へ貢献できる企業グループを目指す

参考資料5 事業ドメイン

社会 インフラ

上下水道、道路、通信、交通など
人・生活において基盤となる施設



メーカーの生産活動に必要な
機械、プラントなどの製造設備



産業設備

参考資料 6 事業部門の構成と主な製品①

事業セグメント	主な事業ドメイン	事業部	主な製品	主な需要先
ライフラインセグメント		パイプシステム	ダクタイル鉄管類	水道事業者
		バルブシステム	水道用バルブ、産業バルブ	水道事業者、製鉄・電力等各種プラント、ポンプメーカー
機械システムセグメント		機械システム	鍛造プレス	自動車関連メーカー
			粉体処理機	カーボン、エンブラ、二次電池関連メーカー 他
		プラントエンジニアリング	プラントエンジニアリング企業	
		素形材エンジニアリング	耐磨耗鋳物、破碎機	鉄鋼、セメント、電力、環境、砕石関連企業
産業建設資材セグメント		建材	建築資材	管材商社、空調設備業者、ゼネコン等
		化成品	FRP(M)製品	国・地方公共団体、電力会社、ゼネコン、フィルム関連メーカー

参考資料 7 事業部門の構成と主な製品②

◆ 社会インフラと産業設備事業の構成、官需/民需のバランスが良く、好不況の波に強い事業基盤を持つ

社会インフラ = 安定性

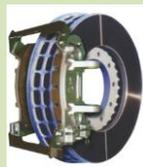
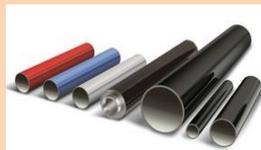
上下水道、道路、通信、交通など
人・生活において基盤となる施設。

売上比率
約50%

売上比率
約50%

産業設備 = 成長性

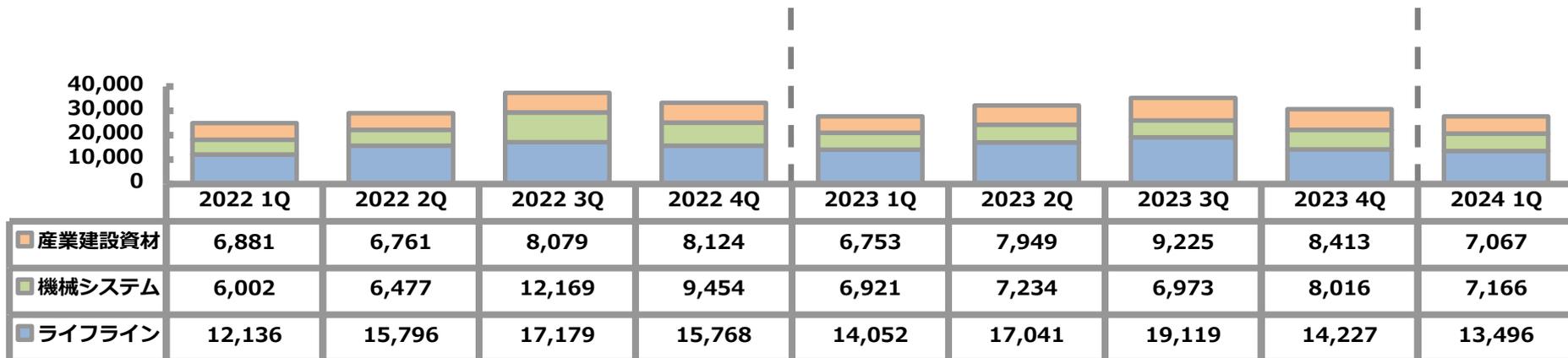
メーカーの生産活動に必要な
機械、プラントなどの製造設備。

ライフラインセグメント		機械システムセグメント		産業建設資材セグメント	
パイプシステム	バルブシステム	機械システム	素形材 E N G	建材	化成品
水道用ダクタイル鉄管	水道用・産業用バルブ	鍛造プレス、混練機	耐熱・耐摩耗鋳物 破砕機	空調用ダクト等の 建築資材	検査路等の FRP(M)製品
 	 	 	 	 	 

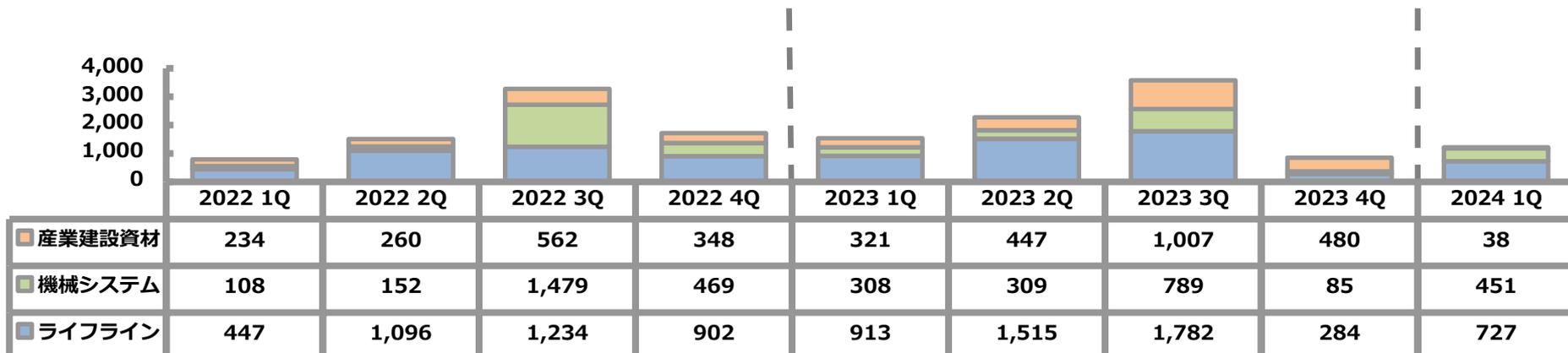
参考資料 8 セグメント別四半期業績推移 (連結)

売上高

(単位：百万円)



営業利益

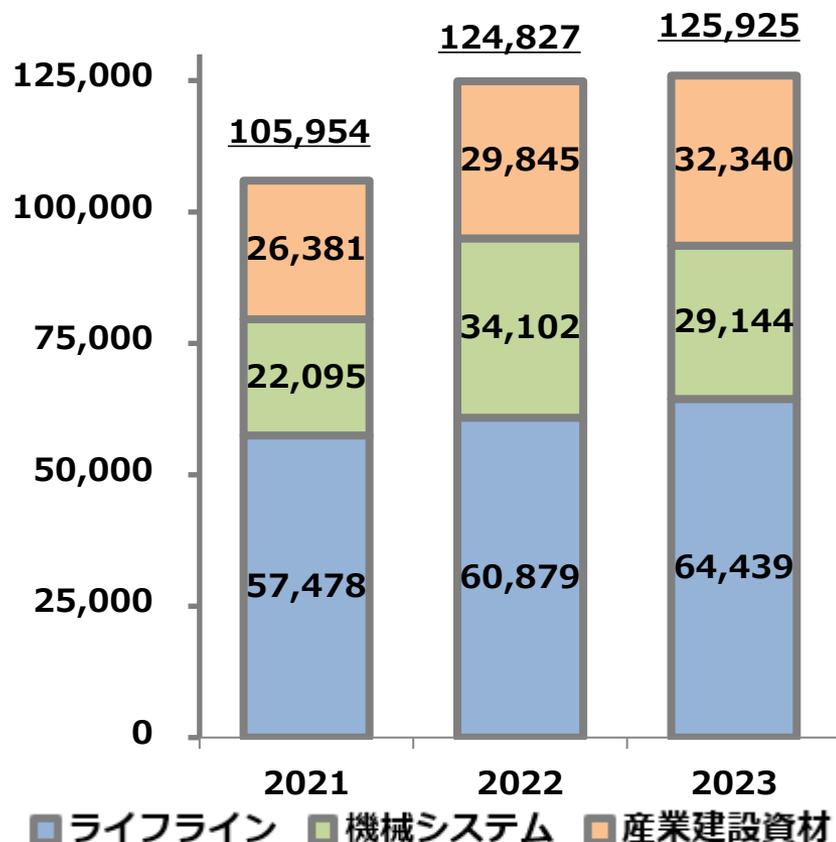


※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

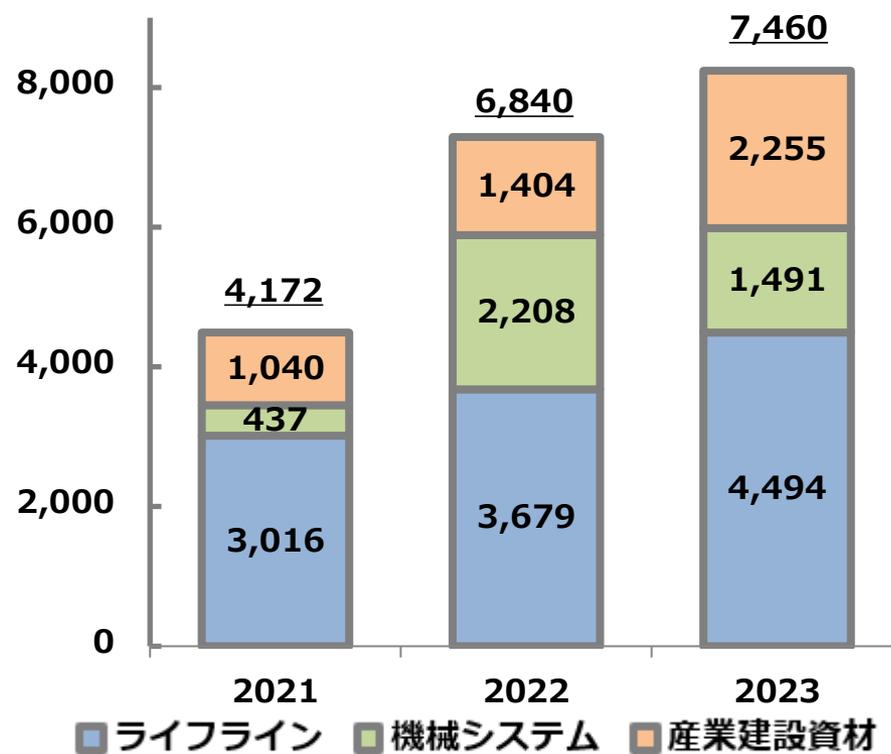
参考資料 9 セグメント別業績推移

(単位：百万円)

売上高



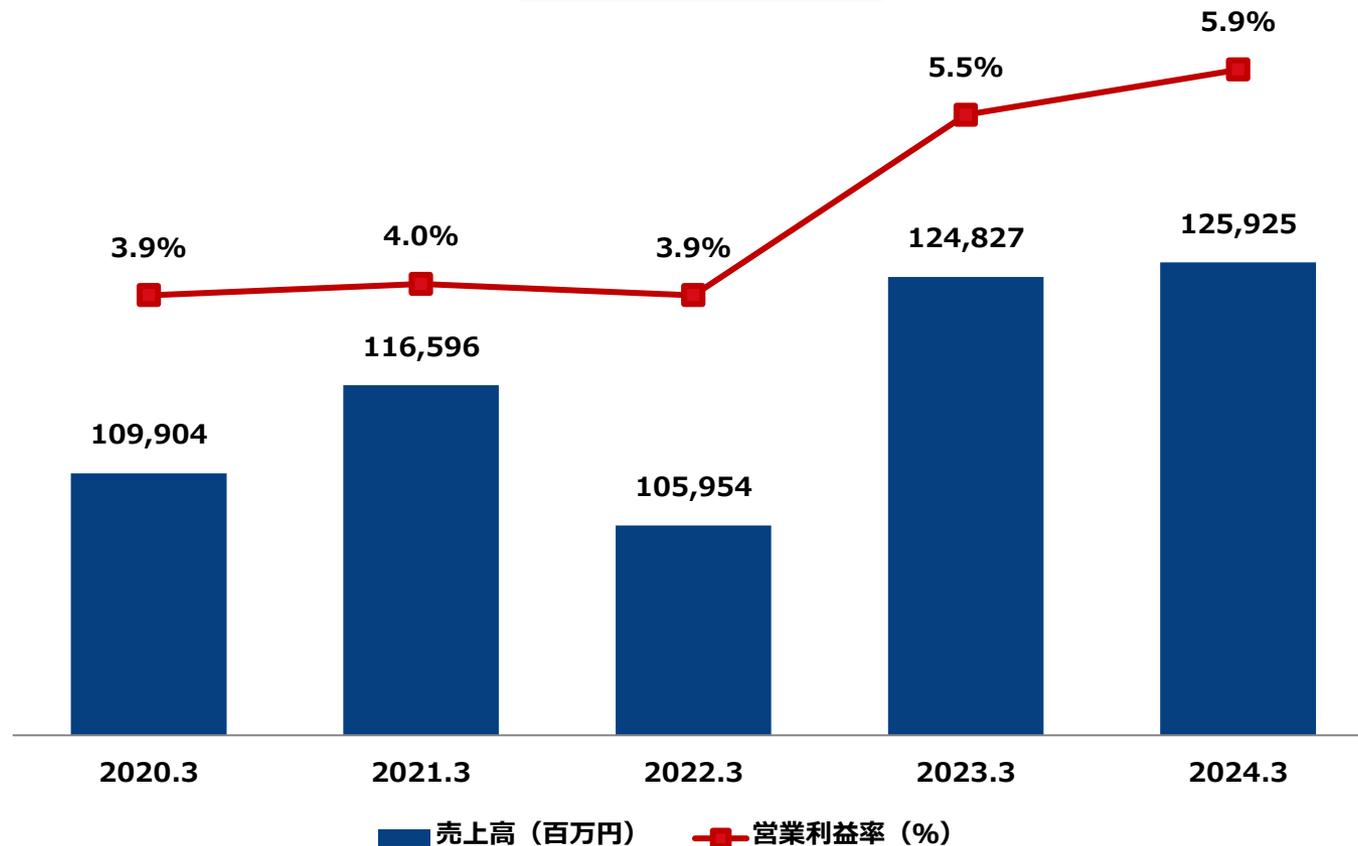
営業利益



※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

参考資料 10 売上・営業利益率推移（連結）

連結



参考資料 1 1 水道管路DB方式 受注実績

●水道管路DB（設計・施工一括発注）方式 主な受注実績

No.	ご発注者	受注	竣工	事業名称	契約者	事業規模
1	長野県 小諸市	2019年度	2022年度	送配水管更新業務 (丸山排水池～坂の上配水池)	栗本鐵工所	3.9億円
2	大阪府 泉佐野市	2020年度	2022年度	泉佐野市日根野浄水場他 管路更新業務	栗本鐵工所・泉佐野市水道組合 特定建設工事共同企業体	3.1億円
3	兵庫県 神戸市	2020年度	2023年度	中央(東町他)配水本管取替事業	栗本鐵工所・港建設・安藤建設 特定建設工事共同企業体	6.2億円
4	奈良県 広陵町	2020年度	2021年度	広陵町馬見南配水本管布設 耐震設計・施工業務	栗本・潮技術コンサル 共同企業体	2.5億円
5	奈良県 広陵町	2021年度	(予定) 2024年度	広陵町配水本管布設 耐震設計施工業務	村本・栗本・潮技術コンサル 共同企業体	5.4億円
6	岐阜県中津川市	2021年度	(予定) 2024年度	中津川駅周辺管路更新事業	クリモト°イ°エンジニアリング 保母興産・新日本設計グループ°	4.4億円
7	奈良県	<u>2022年度</u>	(予定) 2027年度	連絡管第1工区整備事業	栗本・村本・潮技術コンサル 特定共同企業体	—
8	兵庫県 播磨町	<u>2022年度</u>	(予定) 2026年度	東本荘・新島地区基幹管路 布設替工事	栗本・潮技術コンサル 共同企業体	4.4億円
9	北海道 千歳市	<u>2023年度</u>	(予定) 2025年度	(5) 美々地区外水道整備事業	栗本・舞鶴・神栄 日水コン特定共同企業体	13.8億円
10	北海道 留萌市	<u>2023年度</u>	(予定) 2024年度	新信砂浄水場導水管更新事業	クリモト°イ°エンジニアリング 日水コン特定建設工事共同企業体	1.1億円
11	青森県津軽広域 水道企業団	<u>2023年度</u>	(予定) 2030年度	導水管路耐震化(二重化)事業	栗本・丸勘建設 日本水工設計特定共同企業体	48.0億円
12	大阪府 泉佐野市	<u>2023年度</u>	(予定) 2024年度	泉佐野市日根野浄水場他 管路更新業務(その2)	栗本鐵工所・泉佐野市水道組合 特定建設工事共同企業体	0.9億円

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

問い合わせ先
株式会社栗本鐵工所
総合企画室 IR・SR部
TEL:06-6538-7719
E-mail : ir@kurimoto.co.jp
HPアドレス : <https://www.kurimoto.co.jp>

KURIMOTO